

（金のエンジェル賞 幼児・小学生低学年の部）

木星でころんだお父さん

年長・坂本 明里紗

お父さんは、土星でたんしんふにんをしています。アレモという犬がたロボットとくらしています。

夏休みにお父さんとアレモが土星から帰ってきました。帰ってくるとかならず二人でさんぼに行きます。公園によるので、私はさんぼが大好きです。

今日は、木星公園に行きました。木星公園には、すべり台や、かわったてつぼうみたいなかたちをしたゆう具があります。私は、てつぼうみたいなかたちをしたゆう具が気になりましたが、やり方がわからなかったので、お父さんにおしえてもらいました。お父さんは、二つのでつぼうにりようわきをのせて、ブランブランしています。お父さんはやったことがないように見えました。すると、お父さんがドサツという音を立ててころびました。メガネの耳にかけるところが、こわれてしまいました。右目のまぶたをすりむきました。お父さんがころんだとき、私は笑いをグツとこらえました。水星公園にも行くはずだったので、お父さんがケガをしたので私は地球に帰ることにしました。お父さんも土星に帰ることにしました。悲しかったです。

お父さんが帰ったあと、お母さんに絵をかいてわけをはなしました。お母さんはゲラゲラゲラゲラ笑いしました。私はすこし元気になりました。



画：うよ 高山

お父さんのたんしんふにんがおわって、地球に帰ってきました。犬がたロボットのアレモもいっしょです。家ぞく三人で水星公園に行きました。水星は88日間ひるまがつづいて、次は88日間よるになります。水星は今ひるです。だからずっとあそべます。